

JR境港駅前地区

(鳥取県 境港市)

計画期間 平成27年度～平成31年度

面積 38.4ha

交付対象事業費 1,340百万円

市人口 34,297人(地区内人口 1,002人)

ポイント

- ・車が主役の道から人を大切にする道へ
- ・観光産業化の促進
- ・住民を含む来訪者の利便性、満足度の向上
- ・住民や関係者(有識者、商工関係、地元自治会・商店街、福祉関係等)と一体となった「妖怪」の魅力を堪能できる世界で唯一の道へ

地区概要

JR境港駅前地区にある「水木しげるロード」は、JR境港駅から「水木しげる記念館」のある本町商店街までの約800メートルの道路と沿道の店舗などで構成されており、本市が推進する「さかなと鬼太郎のまち」をキャッチフレーズとしたまちづくりの中心となっている。

目標

大目標：水木しげるロードを核とした持続的な地域発展

目標1：すべての人にやさしく、誰もが楽しめる空間づくりによる地元も含めた来訪者の利便性及び満足度の向上

目標2：沿道の魅力及び機能の向上による通過型観光地からの脱却と消費額の拡大

目標3：オンリーワンの魅力発信により、持続的に発展する観光地としての定着化

指標

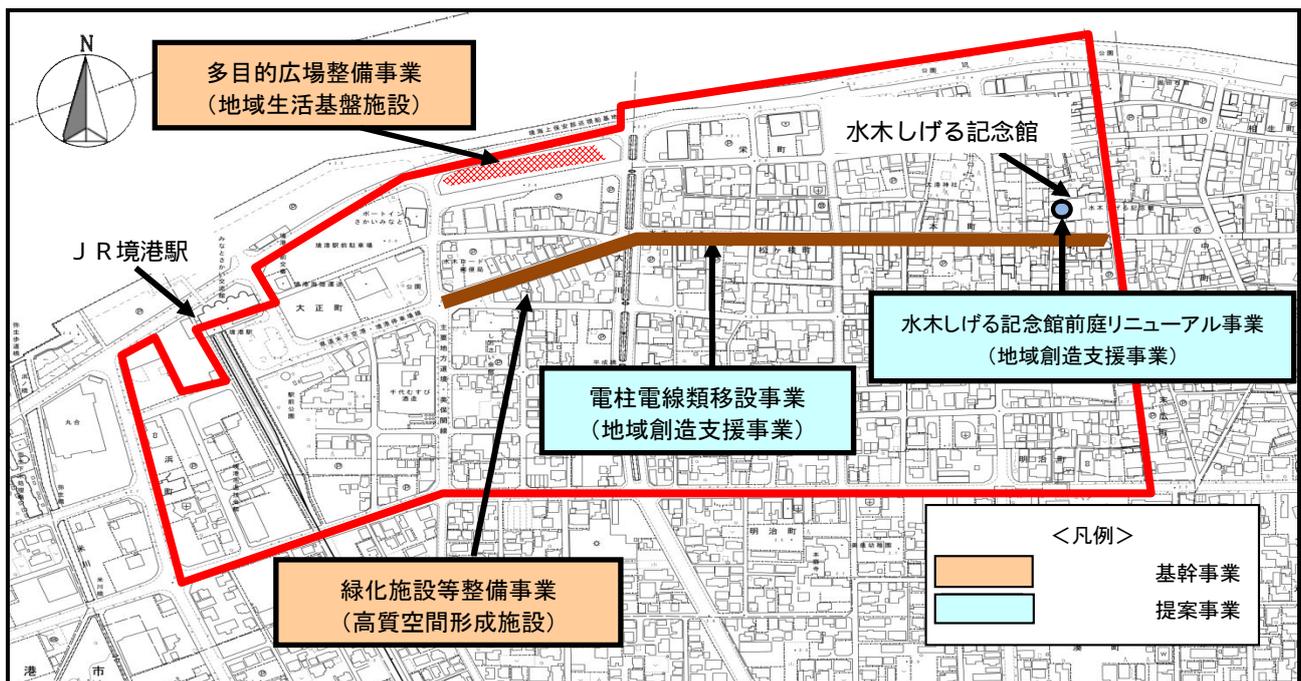
来訪者の増加と満足度の向上に加え、夜の賑わいの創出を図る。

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| まち歩き環境の満足度 | 85.4% (H26) → 88.0% (H31) |
| 泊客数 | 12,969人(H26) → 13,221人(H31) |
| 水木しげる記念館入館者数 | 239,450人(H15～H25平均) → 240,000人(H26) |

事業内容

基幹事業(1,122百万円) 地域基盤施設(多目的広場)、高質空間形成施設(緑化施設等整備事業)

提案事業(80百万円) 地域創造支援事業(水木しげる記念館前庭リニューアル事業、電柱電線類移設事業)



地区の現況と課題

- ・年間200万人を迎える道としてミスマッチ
- ・歩道の通行にも支障をきたしている
- ・通過型の観光地（夜の賑わいが乏しく、宿泊客が少ない）

提案事業の特徴

（水木しげる記念館前庭リニューアル事業）

水木しげるロードのリニューアルにあわせ、水木しげる記念館の前庭を魅力的な滞留空間となるよう、リニューアルを行う（電柱電線類移設事業）

信号機等について、景観に配慮したデザインへの改修を行う。

計画策定プロセス

基本構想 平成26年2月に基本構想策定検討委員会（委員長：東京大学 堀繁教授）を設置。同3月に完成。

基本計画・基本設計 平成26年9月に基本計画・基本設計検討委員会（顧問：東京大学 堀繁教授）を設置。平成27年3月に完成。

社会実験 上記基本設計を踏まえ、平成27年度に社会実験を実施。

中村勝治市長のコメント

この水木しげるロードは、これまでみんなが力をあわせ、作り育ててきた地域の大切な財産です。この財産を発展継承していくためには、今ここで、大きなリノベーションが必要であると考え、本事業に着手しました。計画の策定にあたりましては、地元を始めとする多くの方々にご尽力を頂きました。この場をお借りし、心より感謝申し上げます。また、計画が進みつつある中、ご逝去された水木しげる先生に、この度の栄誉をご報告させて頂くとともに、先生の多大なるご恩に報いるためにも、この水木しげるロードが、多くの人を惹きつけ愛される空間として発展を続けていくよう、これからも取り組んでまいります。

基本計画・基本設計検討委員会

足立收平委員長のコメント

基本構想策定段階より常にアウトカムを念頭におき、来訪者のホスピタリティ向上を第一に、整備の在り方について多くの時間をかけ議論を交わし、他に例のないオンリーワンの計画となるよう、官民が一体となって取り組んで参りました。このプロセスがあったからこそ今回の受賞につながったと感じており、一緒に議論いただきました委員会の方々をはじめ、たくさんのご意見を頂戴した地元関係者の皆様に感謝申し上げます。今後は、整備の効果が発揮され、観光地として持続発展していくことを願っております。

水木しげるロード振興会

権田淳一会長のコメント

今回の計画策定に携わり、将来を見据えたまちづくり基礎となるものが描けたと思います。この受賞は、地域にとって大きな誇りであり、今後の活力になるものと思います。完成の暁には、この空間を十分に活用し、水木しげるロードにお越し頂く全ての方々に楽しんでいただき、水木しげるロードに「また来たい。」とっていただけるよう、地域として活動を続けてまいります。

【リニューアル前の狭い歩道】



【リニューアルの完成イメージ】



【VRを説明に活用】



【社会実験の様子】



【高専と地元商店街の街なみ検討】

